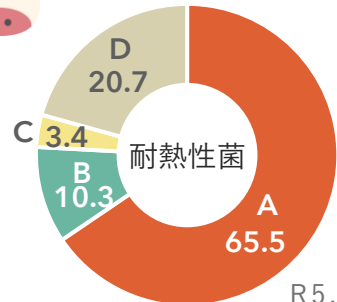
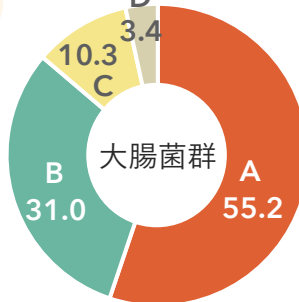
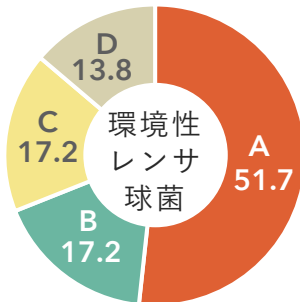
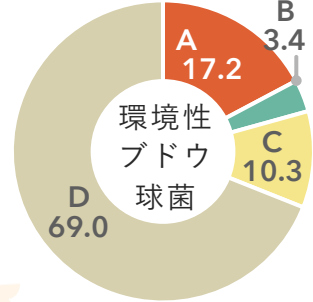
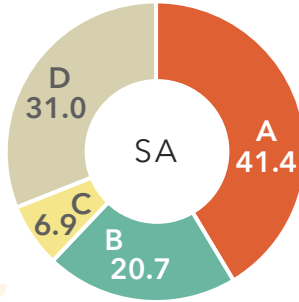
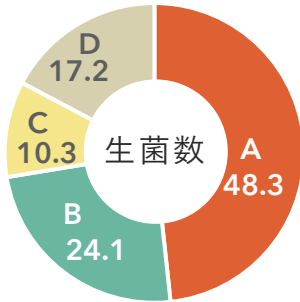


酪農生産性向上対策事業 第2回バルク乳検査結果

管内の第2回バルク乳検査結果です。黄色ブドウ球菌 (SA) 感染牛の特定や牛群の感染状況の把握のために、個体乳検査や分房乳検査・薬剤感受性試験をご希望される方はお気軽にご相談ください。



採材
R5.11月

判定基準 A：正常/目標 B：やや多い C：多い D：非常に多い
※グラフ内の数字：管内対象農家（29戸）のうちA～D判定の割合（%）

無乳性レンサ球菌、マイコプラズマ、牛ウイルス性下痢ウイルスは全戸陰性でした。

check!! topics 過搾乳について

? 過搾乳とは



- Point 1 乳が出ていないのにミルカーを装着することで発生
- Point 2 乳頭口を傷つけ乳房炎の原因になる
- Point 3 乳頭口がリング状、角質やかさぶたができている牛⇒過搾乳かも
- Point 4 乳牛にとって不快な刺激となり泌乳を抑制する「アドレナリン」を分泌させ、泌乳機能を低下させる

? いつ発生？



01 搾乳開始直後

- 搾乳刺激の不足
- 早すぎるミルカー装着
- 5回以上の前搾り
- 乳頭が膨らんだ状態でミルカーをつける

02 搾乳終了間際

- ミルカー離脱の遅れにより、空搾りが発生
- ブリードホールからの空気の流入音が止んだ時
- クローに入る生乳が一筋の糸になるくらい